

事務事業チェックシート

事務事業No 351 事業名 エイズ予防事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	5	保健医療対策の推進
基本方針	1	結核予防とまん延防止対策の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		予防対策費	
	大事業		予防対策事業	
	事項		エイズ予防事業	

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	永年	～	
事業実施の根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		
関連個別計画	和歌山市地域保健医療計画		
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	小浦保則 (488-5115)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市民に対してイベントの開催やパンフレット等の配布を通じ、エイズの正しい知識の啓発を図る。また、感染の早期発見・治療のための検査や相談業務を実施し、感染の予防及びまん延の防止を図る。	<p>一般市民を対象にエイズ予防に関すること（相談・検査・啓発等）を実施</p> <p>1 エイズ抗体検査（相談は随時実施） 電話・来所にて予約を受け付け、保健師/看護師が相談・採血実施。保健所医師より結果を本人へ対面で説明、陽性時は医療機関への紹介を行っている。 費用は無料で、匿名で実施。 実施日時 毎週水曜日 午後6時～午後8時 / 毎週木曜日 午前9時～午前11時 HIV検査普及週間・世界エイズデーの際には、休日即日抗体検査を実施している。</p> <p>2 普及啓発 中・高校にて、エイズや性感染症についての正しい知識と予防方法について相談・指導。 世界エイズデーを中心とした街頭啓発やイベントの開催。</p>				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		1 和大祭にて啓発イベント（パンフレットやグッズの展示及び配布、エイズに関するクイズ等）を行い、その2週間後に休日即日抗体検査を実施（13名） 2 高校3校へ思春期出前講座を実施（計5回） 3 HIV検査237件（毎週水・木曜日） 4 HIV検査普及週間の際に休日即日抗体検査を実施（7名）	1 和大祭にて啓発イベント（パンフレットやグッズの展示及び配布、エイズに関するクイズ等）を行い、その2週間後に休日即日抗体検査を実施（6名） 2 高校へ思春期出前講座を実施（3校 5回） 3 HIV検査（242名）（毎週水・木曜日） 4 HIV検査普及週間の際に休日即日抗体検査を実施（19名）	1 和大祭にて啓発イベント（パンフレットやグッズの展示及び配布、エイズに関するクイズ等）を行い、その2週間後に休日即日抗体検査を実施 2 高校へ思春期出前講座を実施 3 HIV検査（毎週水・木曜日） 4 HIV検査普及週間の際に休日即日抗体検査を実施	1 和大祭にて啓発イベント（パンフレットやグッズの展示及び配布、エイズに関するクイズ等）を行い、その2週間後に休日即日抗体検査を実施 2 高校へ思春期出前講座を実施 3 HIV検査（毎週水・木曜日） 4 HIV検査普及週間の際に休日即日抗体検査を実施	1 和大祭にて啓発イベント（パンフレットやグッズの展示及び配布、エイズに関するクイズ等）を行い、その2週間後に休日即日抗体検査を実施 2 高校へ思春期出前講座を実施 3 HIV検査（毎週水・木曜日） 4 HIV検査普及週間の際に休日即日抗体検査を実施

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	719	641	1,223	955	1,199		1,199		1,199		
	伸び率 (%)	-	-	70.1%		-2.0%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	8,454	6,593	8,454	5,543	8,454		8,454		8,454	
		非常勤職員	0	0	0	0	0		0		0	
		小計	8,454	6,593	8,454	5,543	8,454		8,454		8,454	
	国庫支出金	359	256	611	412	598		598		598		
	県支出金	0	0	0	0	0		0		0		
	市債	0	0	0	0	0		0		0		
	その他	8	4	8	3	8		8		8		
	一般財源（税等）	352	381	604	540	593		593		593		
	所要人数	常勤職員	1.10	0.87	1.10	0.75	1.10		1.1		1.1	
非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0		0		
主な予算内訳		手数料 375千円、消耗品費 352千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	検査・相談の啓発の種類				年度目標値				
					実績値	9	8		
	単位	種類	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	検査相談数				年度目標値	400	400	400	400
					実績値	297	314		
	単位	件	全体目標値	400	全体目標達成度	78.5%	年度別達成度	74.3%	78.5%
					年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度		

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	法定受託事務のため、現状のまま維持継続する。
「見直し」 「改善」案	中学高校生を中心に啓発を実施しているが、男性間接触による感染報告も多いことから、NGO等から情報を得、啓発方法を検討する。